

平塚西ロータリークラブ 週報

会長 寺島 理恵
幹事 小泉 守
エレクト 石井 翼
週報担当 柏木 明彦

創立 1976年6月23日
例会日 月3回水曜日 12:30より
例会場 カルチャーボンス平塚
平塚市平塚 5-32-12
TEL 0463-34-9911

事務局
〒254-0045 平塚市見附町 32-7
TEL 0463-33-1475
FAX 0463-33-8676
E-Mail : office@hiratsuka-w-rc.jp

第2283回 2026年5月13日(水)☀

出席報告	総会員数	計算対象数	出席会員数	今回出席率	メイクアップ	修正出席率
	26名	22名	15名	68.18%	0名	4/15 72.73%

◆ 会長挨拶 ◆

皆様こんにちは。

本日は2283回5月の第1例会です。新緑が目眩しい季節となりました。連休明けで体調を崩しやすい時期ではありますが、皆様の元気な顔を拝見でき大変嬉しく思います。

先日はスポンサークラブであります平塚北ロータリークラブ様の創立55周年記念式典・祝賀会に参加させていただきました。55年という長きにわたり、地域に根差した奉仕を続けてこられた歩みに改めて深い敬意を表します。スポンサークラブの節目に立ち会うことは、私たちにとっても大きな刺激となり、ロータリーの絆の強さを再確認する素晴らしい機会となりました。

さて、今月は特別月間において「青少年奉仕月間」と定められています。ロータリーは次世代のリーダーを育てることの大切さを信じています。青少年プログラムは教育の機会を広げ、若い世代のリーダーがリーダーシップのスキルを身につけ奉仕の価値観を学べるよう応援しています。インターアクトクラブやRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）や青少年交換の様々なプログラムが準備されています。現在では毎年、7,500名程参加する交換プログラムとなっております。そして、青少年の差別や身体的・精神的・性的な虐待の無い青少年にとって安全かつ前向きな環境を育むことにロータリーは努めています。2026-2027年度は青少年交換留学生受け入れのホストクラブとして実行年度です。フランスの男子生徒をお迎えします。会員皆様のご協力をお願いいたします。

そして最後に当クラブの「創立50周年記念式典」について大切なお願いがございます。事務局よりご案内しております出欠の確認ですが、準備の都合上まだ回答がお済みでない方は、ぜひ早急にご連絡をいただけますでしょうか。50周年という半世紀の節目をメンバー全員で最高の形で迎えたいと考えております。

会場設営や祝賀会の手配など正確な人数の把握が急務となっておりますので、何卒ご協力の程よろしくお願いたします。

では、この後クラブリーダーシップラーニング・セミナーの報告をお願いいたします。

本日の例会も皆様にとって有意義な時間となりますよう祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

◆ CLLS 報告 ◆



【次年度会員増強委員長 近藤直樹】

RCの仲間の輪をつくる

『辞めない・増えるクラブをどうつくるか』をテーマに佐藤パストガバナー及び藤沢南 RC の 2025-26 年度会員増強委員長の木本己樹彦様が講演をしました。

『衛星クラブ』という選択肢の具体例を示しながらの説明もありました。

「増強」と「維持」をなぜ分けてはいけないのか？そしてなぜ辞めてしまうのか？

増やしても辞めれば意味がない、維持だけでも未来はない、同時設計が不可欠である。辞めてしまう会員の本音は、クラブ内に居場所がない、誰からも何のフォローもない、クラブ内に役割がない、期待されていないなど能力の問題ではなく関係性の問題が重要である。仕事は忙しくなったというのは本音ではない場合が多い。

増強が続くクラブはスポンサーの定期的な声掛け・食事・フォロー、新入会員には小さな役割、会長・幹事の意味疎通がしっかりしていること、そして理解してきたと感じるロータリーの学びが重要である。

反対に増強がうまくいかないクラブは、会員増強は委員会任せ、入会後のフォローがない。新会員はお客様扱いで誰も気にかけてくれない等の特徴がある。

続いて『衛星クラブ』の説明です。

新しいライフスタイルに合わせた柔軟なロータリーの形としての位置づけ

圧倒的な柔軟性、親クラブとの連携、将来の独立または共存ができることのこと。

最後にクラブに持ってもらいたい3つの問いと真剣に向き合ってもらいたいとのこと

- ①最近辞めた会員は本当に『辞めるしかなかった』のか？
 - ②その会員に『役割』と『居場所』を用意できていたか？
 - ③衛星クラブがあれば未来は変わるか？
- これらの問いが新しいアクションの始まりになるのでしょうか？



【次年度幹事 齋藤宙也】

「資料に沿って、幹事の役割一覧、クラブセントラル（目標）の登録について説明があり、マイロータリーの各会員の登録状況の確認方法について案内があった。これに基づき、クラブ目標の登録を済ませており、マイロータリーの各会員の登録状況を確認した。改めて、マイロータリーの登録を案内するよう努める。」

【ラーニング委員会 山田雅孝】

CLLS(クラブリーダーシップラーニングセミナー)報告

1. 基調講演「クラブリーダーのあり方」
リーダーPG 佐野 英之
2. 基調講演「行動計画について」
リーダー PG 相澤 光春
3. テーブルディスカッション
端山 創之（地区ラーニング委員会委員）
4. 発表
■「Rotaryの目的と意義」について佐野リーダーより
基調講演「Rotaryの目的と定義」地区ラーニング委員会委員長：佐野 英之（秦野 RC）
1. はじめに
2. 規定に定められた「ロータリーの目的」
3. 現在の「目的」にまとまるまで
4. 「ロータリーの目的」の捉え方
5. 「奉仕の理念」とはどういうモノなのか
6. 「Rotaryの定義」を考えてみる
7. ポールハリスの言葉

【我々のロータリークラブは、伝統の継承にとどまらず、新たな視点で考え、現会員と将来の会員にとって魅力的なクラブ体験を創り出すクラブであるべきで、理想像を語るだけの場ではなく、様々なニーズを取り入れて、お互いを理解しあうべきであるべきです】と話されました。

佐野リーダーの基調講演の主な内容は「ロータリーの目的と定義」についての理解を深化をさせるとして、ロータリーは単なる伝統の継承ではなく、時代に応じた新たな視点を取り入れ、会員にとって魅力ある活動を創出することが求められる。その根幹には「奉仕の理念」があり、標準定款に基づき、親睦を通じた奉仕機会の創出、職業倫理の向上、日常生活での奉仕実践、国際的な理解と平和の推進が掲げられている。

この理念は長い歴史の中で形成され、「超我の奉仕」や「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」といった標語に象徴される。奉仕の意味も時代とともに拡張され、現在では社会貢献を中心とした行動原理として位置付けられている。また、ロータリーは人道的奉仕、職業倫理の推進、国際親善を目的とする世界的ネットワークであり、国際性・粘り強さ・奉仕への献身という特徴を持つ。

さらに、各クラブが独自の視点でロータリーを再定義し、地域に根ざした活動や多様な人材の連携を通じて課題解決に取り組むことの重要性が強調された。最後に、ロータリーは単なる交流の場ではなく、責任ある奉仕活動を伴う組織であるべきと締めくくられました。

■次に相澤リーダーからはクラブ行動計画についてPPTを使って説明がありましたが、詳細は後日ガバナー事務所よりPPTファイル入手できるようにするとのことでした。

■テーブルディスカッションでは各クラブのラーニング委員会の活動状況と次年度何をすべきかが話された、会場が狭く周りの声が騒がしく聞き取れませんでした。

佐野リーダーの基調講演の詳細は次の通りです

2. 規定に定められた「ロータリーの目的」
ロータリーの目的は、標準定款第3条に・・・『ロータリーンの目的は、意義ある事業の基礎として奉

仕の理念を奨励し、これを育むことにある。』そのあとに具体的には次の各項を奨励することにあるとされています

1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
 2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認め、社会奉仕に寄与し、ロータリアン自らの職業を高めること
 3. ロータリアン会員一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
 4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて国際理解・親善・平和を推進すること
3. 現在の「目的」にまとまるまで
現在の「ロータリアンの目的」は、半世紀近い年月をかけて何度も修正され、現在の形にまとめられた。その後、半世紀以上に亘り変更されていないことから、ロータリアンの本質を端的に表すものと考えられる。

現在の「目的」にまとまるまでの歴史的経緯

● 1906年（シカゴクラブ）

- 1 創立翌年、クラブの目的を「会員の相互扶助と親睦」と定めた。
- 2 これが「職業奉仕」「クラブ奉仕」の原型と考えられる。
- 3 その後、「シカゴ市の最大の利益を推進し、市民としての誠実と忠誠心を広める」という社会的目的が追加され、「社会奉仕」が取り入れられた。

● 1922年

- ・ 国際ロータリー連合会が「国際ロータリー」と改称。
- ・ 国際ロータリー定款とクラブ定款に同一綱領を定めることとなり、以降のクラブは標準クラブ定款の採択が義務化された。

4..「ロータリアンの目的」の捉え方

「奉仕の理念」とは何か

◆「超我の奉仕 (Service Above Self)」とは、個人の利得や打算、私的な利益を考慮せず、それを越えたところで社会や他者のために尽くすという倫理的な考え方です。

◆「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」(One Profits Most Who Serves Best) はシェルドンが著した理念であり、1911年の創立以来、ロータリアンは「自分の儲けを優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献するという意図をもって事業を営めば、結果として継続的な事業の発展が得られる」という考え方です。

このように2つの標語は奉仕について説明しているもの

Service (奉仕) の意味の変遷

初期のロータリーにおける Service (奉仕) は、「個人の職業を通じて正しいサービスの方法を体験する」という意味で捉えられていました。しかし現在では、Service (奉仕) はロータリアンの中心的行動原理として、

『人の助けとなること、社会に役立つこと、世のために尽くすこと』という実践的な意味で使われています。

シェルドンが基礎に据えた「Service」の意味は時代とともに変化し、その概念は拡張されてきました。今日では「Service」はロータリーにおける最重要キーワードの一つであり、「Rotary は Service (奉

仕)をもって人間活動の根本概念とする運動」と理解することもできる。

6. 「Rotary の定義」を考えてみる

次に、ロータリアンの定義を2つの観点から考える。

＜国際ロータリーがまとめた定義（1976年）＞

「ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を奨励し、かつ、世界中における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業および専門職務に携わる指導者が世界的に結びついた団体である」

ロータリーを簡潔に伝える場面では、この定義文が有効である。定義文の中には、ロータリーの際立った特徴が含まれている。ロータリー定義がありません。これに役立つものとして、1976年に国際ロータリーは「ロータリアンの定義」を、次のような簡潔な文章にまとめています。

定義そのものを覚えることも大切ですが、次のような「ロータリアンの3つの際立った特徴」が含まれていることに、配慮どのように置いて頂きたいと思えます。

＜ロータリアンの3つの際立った特徴＞

- ①国際性・・・際立った国際性がある証として、Rotary 創立後16年と短い期間で、六大陸を包括したという事実があること
- ②粘り強さ・・・第二次世界大戦中に、ドイツ・イタリア・スペイン・オーストリア・日本などで奉仕できなくなり、非合法化・テンポラリーな活動機会を失うも越えて、戦後は不屈独立の組織として際立った存在であること
- ③奉仕への献身・・・ロータリーは、ポリオ根絶運動に象徴されるように事業および専門職務に携わる指導者がロータリアンの職業で国境を越えた人道活動に力を注いでいること

(2) 自分たちがロータリーを考える場面で現れてくるロータリーに対する自由な定義

もう一つ、自分たちがロータリーを考える場面を想定してみましよう。私たちがロータリーを考える場面ではこれがロータリーなのだと思える事柄が浮かんでくると思えます

これは定義文そのものではありませんが、ロータリーらしさを表す事柄には、ロータリアンの定義を考えるに必要な「他と明確に区別できるポイント」や「組織として共通認識されるポイント」が隠されています。例えば、次のような Rotary の特徴として挙げられるポイントには、定義を考えるに十分なヒントがたくさん含まれていると思えます。

6. 「Rotary の定義」を考えてみる Rotary の特徴 (例)

地元に着目した活動として、人と人とのネットワークを生かし、地域の真の姿を見極めて課題に取り組んでいること。

- ①多角的なアプローチを持ち、様々な職業やスキルを持つ人たちがアイデアを寄せ合い、世界や地域が抱える諸問題に対する独自の解決策を見出していること。
- ②倫理を大切に、責任を持って行動することを目指していること。ロータリアンの職業倫理を基盤とした活動を目指していること。
- ③Rotary クラブは国際的なネットワークの中に存在しながら、独自の活動を行っていること。

- ④会員の自律性・多様性・寛容性を尊重しながら、会員の自主的なつながりによるネットワークが形成されていること。etc.
多くのクラブでも、自分たちのクラブの特徴を改めて話し合ってみていただきたいと思います。そして、ロータリーを再評価し、自クラブがロータリーという大きな組織の重要な構成員であることを自覚することにより、「それぞれのクラブの活動の可能性が大きく広がること」を期待したいと考えます。

7. ポールハリスの言葉

「Rotary が何の責務を負わず、単なる気休め、または余暇を過ごす場になったら、Rotary の有益性はなくなります」

この言葉を皆さんにお伝えすると共に、このセミナーが次年度のクラブ運営の一助となり、輝かしい年度となることを期待します。

◆ 幹事報告 ◆

●第 2780 地区より●

*令和 7 年青森県東方沖地震支援金協力依頼について、本日まで募金箱を設置しますので、寄付の目安として一人当たり 1,000 円以上よろしくお願ひします。

●国際ロータリーより●

*5 月のレートは 160 円/ドル

*小泉会員へポールハリスフェロー表彰



◆ 誕生祝 ◆



瀬尾会員



齋藤会員

◆ 受 理 ◆

- *ロータリーの友
- *ガバナー月信

◆ ス マ イ ル ◆

◆齋藤会員◆

19 日が誕生日です。次年度会長幹事会があります。

50 周年のほうに参画出来なくて申し訳ありませんが、次年度頑張ります。

◆瀬尾会員◆

誕生祝、ありがとうございます。

50 周年記念式典に向けて「楽しく」と思っています。

◆小泉会員◆

妻の誕生日にお花をありがとうございました。

大変喜んでおりました。

◆山田会員◆

誕生日をお迎えの齋藤さん、阿部さん、瀬尾さんおめでとうございます。

50 周年記念式典の出欠の返事が未だの方、早めをお願いします。

◆大畑会員・久保田会員・荒井会員・佐藤会員・伊藤会員・近藤会員◆

誕生日の齋藤さん、阿部さん、瀬尾さんおめでとうございます。

◆ 本日の食事 ◆



◆ 次 回 例 会 ◆

5 月 20 日 (水)

次年度会長方針発表